平成 29 年度分大船渡市教育委員会事務の点検・評価結果に対する意見

1 事務事業

番号	事務事業名	点検結果
1-1-3	博物館管理事業	<ul style="list-style-type: none"> ・対象は、「来館者」としていいのではないか。 ・成果指標に、「来館者数」を加えた方がいい。
1-2-1	生涯学習情報提供事業	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標については、意図である「必要な生涯学習情報を手にする」から考えると、「①生涯学習に関する情報が十分に提供されていると思う市民の割合」のみが適切と考える。 「②生涯学習活動の機会があると答えた市民の割合」は、「基本事業2 学習機会の充実」、「③日常生活で何らかの生涯学習活動を行った市民の割合」は、「施策1 生涯学習の推進」の指標として捉えるのが適切であると思われる。 また、成果指標②、③の H32 目標値に小数点以下が標記されているが、細かい目標設定は必要ないのではないか。 ・「今後の方向性等」の中で、情報提供の手段として、高齢化への対応という視点も加味して記述してほしい。
1-2-2	乳幼児学級事業	<ul style="list-style-type: none"> ・意図は、端的に、「乳幼児への接し方を学ぶ」ということで整理してはどうか。 ・成果指標は、「講座に参加して有意義だったと感じた保護者」の割合としているが、これでいいか。このような問いかけに対し、有意義だったと答える人が大多数ということは容易に予測がつく。成果指標は、むしろ受講生の学びに対する熱心さを測るものさしとして、「講座全体を通じての出席率」ではどうか。 ・「今後の方向性等」に、託児ボランティア不足について記載されているが、乳幼児学級の受講者OBに声掛けしてみるのはいかがでしょうか。もしくは各企業等のボランティア組織などに声をかけてみるのはいかがでしょうか。
1-2-3	市民講座事業	<ul style="list-style-type: none"> ・意図は、簡潔に「市民の学習要求を充足させる」は、「多様な分野にわたり、広く学ぶ」ではどうか。 ・成果指標について、「①講座の受講数」のH29 実績とH32 目標が空欄となっている。目標数値が無いとはどういうことか。 また、本来定員を設けて受講者を募集して開催しているので、①、②及び③の数字は、果たして意味があるのか。 「定員充足率」を指標としたほうがいいのではないか。
1-3-1	生きがいセミナー事業	<ul style="list-style-type: none"> ・事務事業名は、「生きがいセミナー開催事業」と表記すべき。 ・意図について、記述されている「より生きがいのある生活を送れるようになる」とは、学びの結果であり、意図ではない。ここは、学ぶことを主眼とした表現にとどめるべきである。
1-3-2	芸術文化活動支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業は、市が実行委員会に対して補助金を支出して運営を支援しているものなので、対象は、「市民芸術祭実行委員会」で、意図は「円滑に事業を運営してもらう」ではないか。 ・そうすると、成果指標は「市補助金額」となる。

1-3-3	芸術文化鑑賞事業	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標について、対象が市内の児童生徒であるのに、成果指標が「②芸術文化に触れる機会がある市民の割合」としているのはおかしい。 児童生徒を対象とした事業なのに、児童生徒数である「①鑑賞者数」は成果指標になるのか。
2-1-1	学校施設整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・意図は、「安全かつ快適に利用できる」でいい。
2-2-1	少人数指導事業	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標で数値が入っていないところは、県から配置があったため市が配置しなかったことによるものと思われるが、そもそもそういったものを成果指標に設定するのはどうか。
2-2-2	知能検査・学力検査実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・検査を受けるのは全員が対象だろうから、検査結果を活用して学力が向上したところまでが指標になるのではないか。検査結果を活用することも当たり前だと思われるがいかがか。
2-2-3	特別支援教育支援員配置事業	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標について、昨年度の意見書の中でも述べたが、延べ指導日数で成果をみるのは意味があるのか疑問である。 仮に、指導日数で成果をみることにしたとしても、「①延べ指導日数」について、H29実績とH32目標が「－」、また、「②要支援児童1人当りの指導日数」も、H28実績で2,160日指導していながら「－」、H29実績で「83」日としながらH29実績が「－」など理解できない。 成果指標は、配置希望に対する対応率(措置率)が望ましいのではないか。
2-3-1	緊急スクールカウンセラー一等派遣事業	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標「①スクールカウンセラーに相談を受けた児童生徒の割合」とあるが、パーセントが高くなるほど成果が上がったとは思えないのではないか。カウンセラーが良く活用されているのが分かる指標がよいのではないか。 例えば、「カウンセリングを受けた児童生徒のうち、学級又は学校に戻ることができた」とか、「改善が見られた児童生徒の割合」が適切な指標と考える。 ・学校だけではなく保健師や地域で情報共有する場である会議の回数や、情報共有することで改善に至った件数などを成果指標にすれば、カウンセラーに相談しただけでなく情報共有し活用されたということがわかりやすくなるのではないか。
2-3-2	教育相談員配置事業	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標について、例えば、適応指導教室に通う児童生徒のうち、学校に戻ることができた児童生徒数といった指標に見直す必要があると考える。
2-3-3	心の教室相談員配置事業	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標について、不登校生の割合としているが、不登校生の人数の方がわかりやすいのではないか。
2-4-1	小中学校体育文化活動大会出場費補助事業	<ul style="list-style-type: none"> ・対象は「県大会以上の体育及び文化大会に出場する小中学校の児童生徒」ではなく、その保護者とし、意図を「経済的負担が軽減される」と整理してはどうか。 ・成果指標は、「全対象校に対する補助率」など、経済的負担の軽減の度合いをみる指標に改めたほうがよいと思われる。

3-1-1	家庭教育学級	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標のうち、「①学級に参加して有意義だったと感じた参加者の割合」が高率であることは容易に想像できる。「受講者の出席率」も指標に加えてはどうか。 成果指標②開催数が「－」となっているが、精査願いたい。
3-1-2	教育振興運動推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・事業内容に「補助金の交付」とあるが、補助金額は成果指標にならないのか。
3-2-1	成人式開催事業	<ul style="list-style-type: none"> ・対象を「新成人」とした場合、新成人が自らの飛躍を祈念するというのはおかしいので、意図は、「成人としての自覚を持つ」ことでいいのでは。 ・「進捗度とその理由」について、出席率が前年度比で5.1ポイント下がっているのに「A」評価でいいのか。 新成人の出席率を高める施策の検討が必要である。
4-1-1	体育施設等管理運営事業	<ul style="list-style-type: none"> ・対象が「市民、体育施設」となっているが、管理運営については、市が体育協会に指定管理しているのではないのか。従って、対象は「市体育協会」ではないのか。 ・事業内容の記述が簡潔すぎる。より具体的に記述した方がいい。 ・「進捗度とその理由」について、利用者の減少理由として、市営球場の休止も加えるべき。
4-1-2	学校体育施設開放事業	<ul style="list-style-type: none"> ・対象は、「市民」ではなく、「市」でいいのではないのか。
4-2-2	スポーツ推進委員設置運営事業	<ul style="list-style-type: none"> ・「進捗度とその理由」に関し、成果指標「スポーツ推進委員が係わるイベント数」が、前年度から半減した理由を記述した方がいい。
4-3-1	各種大会運営事業	<ul style="list-style-type: none"> ・対象は、「市体育協会」で、意図は、「円滑に事業を運営してもらおう」となるのでは。 ・成果指標として、市からの補助金額を追加したほうがよい。
4-3-2	体力づくり推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標②の数値と基本事業「スポーツ・レクリエーション活動の推進」の成果指標の数値が同じ項目なのに違った数値が入っている。
5-1-1	文化財整備普及事業	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標「①国指定3史跡パンフレットの配布数」は、成果指標としてふさわしいのか。また、イベント参加者数が見えないため、「イベント参加者の満足度」に加え、「イベント参加者数」も成果指標に加えてはどうか。
5-2-1	こども郷土芸能まつり開催支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・こども郷土芸能まつりは、市が事務局を務め、関係団体により実行委員会を設置して実施しているもので、市は、実行委員会に対して補助金を支出して運営を支援している。 よって、本事業の対象は、「こども郷土芸能まつり実行委員会」で、意図は、「円滑に事業を運営してもらおう」としたほうがいいのではないのか。 ・成果指標は「市補助金額」に修正したほうがよいのではないのか。 ・こども郷土芸能まつりは隔年のようだが、事業内容に記載したほうがわかりやすい。
5-2-2	文化財保護管理事業	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標の一つに、「郷土芸能協会加盟団体出演回数」をあげているが、H28実績、H29実績ともに空欄になっているのはなぜか。 加盟団体数が32団体なのに、H32目標値が出演回数50回というのもおかしいのではないのか。32団体がそれぞれ1回出演しても32回にしかならないのに、なぜ50回もの数値が目標値として出てくるのか。

2 基本事業

基本事業名	点 検 結 果
1-1 学習環境の充実	<p>・「進捗度とその理由等」の進捗度評価がC評価であるが、3つの主要事務事業がA評価であり、また、成果指標「生涯学習のための施設が整備されている」と答えた市民の割合が、H32目標の50.0%には遠く及ばないものの、前年度比で5ポイント増ということから、B評価でもいいのではないかと。</p>
1-2 学習機会の充実	<p>・成果指標の「①生涯学習に関する情報が十分提供されていると答えた市民の割合」は、事務事業段階の指標なので基本事業指標からは除いたほうがよい。</p> <p>「②公民館講座延べ参加者数」は、定員を設けながらの開催なので、その推移をみるのは意味がない。「③博物館入館者数」も事務事業段階の指標であるため除いたほうがよい。</p> <p>意図である「多様な生涯学習機会に恵まれている」を考えると、成果指標は「1-2-1生涯学習情報提供事業」で掲げた「生涯学習活動の機会があると答えた市民の割合」が適切である。</p> <p>・「進捗度とその理由等」に、市民芸術祭に関することが記述されているが、「基本事業3 学習活動の促進」に係わるものなので、ここでの記載は不要と思われる。</p>
1-3 学習活動の促進	<p>・成果指標 H32 目標の数値の根拠は何か。H28 実績 3,087 点、H29 実績 2,782 点と年々減少している中で、H32 目標が 4,000 点とは相当努力がないと達成できないような数値かと思われるかどうか。</p>
2-1 教育環境の充実	<p>・学校で起きる事故もあると思われるが、どのくらい発生しているのか、また、その事故発生等は基本事業の成果指標には関わらないものか。</p>
2-2 個に応じた学力の向上	<p>・進捗度評価がBとされているがどうか。小学校算数を見ると①「授業がわかる」と回答した割合が78.1%、②標準学力テスト全国偏差値は51.1%、授業がわかるが学力向上につながっているのかどうか疑問に思われる数値である。</p>
2-5 地域開かれた特色ある学校づくり	<p>・「特色ある学校づくり」となれば、もっと地域に特化した特色を出せるように、思い切ってやってみてもいいかと思われる</p>
4-1 スポーツ環境の整備・充実	<p>・意図に「安全で快適な環境が確保されている」とあるが、「確保されていると思う」という指標も必要なのではないかと。</p>
4-3 スポ・レク活動の推進	<p>・事務事業の指標が基本事業の指標になることはあり得ないので、基本事業の指標は「参加する機会が増えたと感じる」と市民がどのように捉えているのか、市民意識調査の数値等が来るのが本来であろう。</p>
5-1 文化財の保存と活用	<p>・盛小学校に新渡戸稲造の書があるのだが、誰も知らない。金田一京助の書も大船渡中学校か大船渡小学校にあったはず。いずれも市として重要な文化財であり、市で指定管理し、一般公開等したほうがいいのではないだろうか。そういったすばらしい文化財がほかにもあるのではないかと。</p>

3 施策

施策名	点検結果
1 生涯学習の推進	・成果指標「①日頃、何らかの学習活動に取り組んでいると答えた市民の割合」のH32 目標が 45.0%とあるが、「1-2-1 生涯学習情報提供事業」の同じ指標で 42.8%とある。どちらが正しいのか精査願う。
2 学校教育の充実	・成果指標の H32 年度目標値が、「教育振興基本計画」13 ページに記載されている数値 85%と違う数値になっている。 ・防災教育について記載されているところがなかったが、施策 2「学校教育の充実」に含まれるのではないか。
3 青少年健全育成の推進	・成果指標の数値が昨年度と同じなので確認願いたい。 ・「進捗度とその理由等」について、成果指標の数値を見る限り、落ち着いてきたとは言いがたいように思えるが、B評価でいいのか。
4 スポーツ・レクリエーションの振興	・高齢者も楽しめるスポーツが課題になってくるのではないか。
5 地域の歴史・文化資源の継承	・人口減少等により単独で出演できない団体が増えてきている。後継者が減少してきている。そういったところをどうしたらいいのか、市としても支援いただければと思う。少子高齢化が様々なところで支障をきたしている。今後の課題になる。

<その他>

- ・ 市人口の割には体育施設が貧弱である。大きな大会を当市で開催できないためマイナスである。交流人口拡大といっても大きい施設がないと交流人口拡大につながらない。また、青少年健全育成の観点から考えても施設の充実は市の課題である。
- ・ 教育とは人づくりであり、人づくりをきちんとしないと国は滅びてしまうので、教育分野に予算を沢山つけてしっかりやってほしい。